

秋田県立秋田明德館高等学校通信制課程 中期ビジョン（5 か年計画）

【令和 8 年度～令和 12 年度】

I 本校が目指す姿

①スクール・ミッション

多様な生徒の学びを保障し、一人一人の自律する力を支援する学校

②スクール・ポリシー

(i) グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

自己の学びに自信をもち、確かな自己肯定感と社会に希望をも
って踏み出すことができる生徒



(ii) カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

- (1) 他の活動と学習の両立に努力することが生徒の自信につながる教育課程を編成し、生徒の計画的なスクーリング（面接指導）参加、レポート（報告課題）提出を支援する。
- (2) 進路行事や特別活動、総合的な探究の時間を通して健全なキャリア観を育成し、生徒の自己理解の深化を支援する。社会には多様な生き方があり、他者との関わりから、現代社会の有り様を理解しながら、自己の在り方生き方を考える。
- (3) 生徒が自らの学びを深めていくことで、「次の学び」につながる評価を行う。

(iii) アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

- (1) 「学びたい」と意欲をもつ生徒
通信制課程での学びの仕組みの中で自ら主体的に学び、自己管理に努めようとする生徒
- (2) 特別活動等を通じて仲間と成長を実感できる生徒
学級活動や部活動などを通じて社会性や責任感を涵養しながら、成長を実感できる生徒

Ⅱ スクール・ポリシーを踏まえた5年間の取組

① 現状と課題

本校は、県内で唯一の公立通信制高等学校として、勤労青年に高等学校教育の機会を提供するものとして設置され、通信手段を主体に生徒が自宅等で個別に自学自習することを中心としながら、レポートの添削・スクーリング・試験による教育を実施している。

近年は、勤労青年のみならず多様な背景をもつ生徒の入学が増加しているため、基礎学力をしっかりと身に付けさせ、努力を積み重ねることで自己肯定感を高め、クラスメイトや部活動の仲間など他者との関わりから社会性を身に付けさせることが重要である。その上で、自主自律の精神のもと、心豊かに朗らかに、将来に希望をもって生きる生徒を育成していくことが本校の社会的使命である。そのためには、デジタル社会に適応した仕組みづくりを進めて、より生徒が自分のペースで豊かに学べる状況をつくることが急務となっている。

② 具体的な取組

○ 自律的な学びが出来る生徒を育てる

- ・電子レポートを活用した課題の出題、提出、添削指導等を充実していく。
- ・スクーリングの出席状況やレポートの提出状況、評価を学習管理システムを利用して自己管理が出来る体制づくりに取り組む。
- ・スクーリングの内容の工夫などによる学び方の指導を充実する。

○ 特別活動を含む魅力的な教育課程を編成する

- ・教育課程の検証と再編成を行う。
- ・スクーリング、レポートの質の保障のための絶え間ない研鑽を行う。
- ・特別活動の内容の検証と再編成を行う。

○ 校外への積極的な情報発信を行い、本校に関する社会の認知を高める

- ・学校ホームページ・学校ポータルサイトを充実する。
- ・地域社会への情報発信の機会を検討していく。

○ スペース・イオにおける不登校傾向にある生徒の指導・支援の充実を図る

- ・生徒の実態把握を丁寧に行い、特性や困り感に応じた言葉掛け、助言を心がける。
- ・安心して学習に取り組める環境づくりに努める。
- ・多様な学びによって自己肯定感、有用感を高め、心の居場所づくりにつなげる。